

京都医療センター小児科 後期研修医募集！！のお知らせ

小児科後期研修を考えておられる先生方へ

前期研修を終え、いよいよ小児科医としてのスタートを切りたい先生方。
どのような後期研修を受けたい、とお考えでしょうか？
京都医療センターで後期研修を受けていただくと、次のことが可能になります。

1. 各分野の基礎固め

後期研修でまず大切なのは、小児科医としての基礎固めです。
小児科医としての基本的な考え方を知り、基本的な疾患を知ることです。
その基礎力があってこそ、将来の subspeciality が生きてきます。
京都医療センターでは、感染症を中心に、各分野の診療を行っています。
将来、小児科専門医を取得するために十分な経験を積んでいただくことを、重視しております。

2. 新生児分野では、高度先進医療にも触れていただく

京都医療センターは、**京都大学 NICU から京阪電車で 25 分**という好立地にあります。
言うまでもなく、京都大学 NICU は、関西をリードする高度先進新生児医療機関の一つです。
その京都大学 NICU と連携し、研修を受けていただくシステムをご用意しております。
**年間 600 件の分娩を抱える当院で新生児医療の基礎を固めていただき、
さらに京都大学 NICU で高度先進新生児医療に触れていただく。**
こんなに恵まれた新生児研修のできる施設が、他にどのくらいあるでしょうか？

では、実際の研修プラン（例）をお見せいたしましょう。
以下に示すプランは、2年間の標準プランです。
ご希望により、研修の期間、内容は随時変更可能です。

**プランをご覧になりながら、
2年後のご自分がどんな小児科医になっておられるか、想像してみてください！**

1 年目: 京都医療センター

一般小児部門：

- ・ 一般外来
- ・ 予防接種外来
- ・ 時間外外来診療：一次、二次救急を含む
- ・ 各分野の入院受け：将来小児科専門医認定に必要な各分野の症例の受け持ち
- ・ 発達外来への参加
- ・ 保健所見学研修（4ヶ月、8ヶ月、1歳半、3歳の各健診）：希望者

新生児部門：

- ・ 正常新生児の診療：分娩年間 600 例。正常をたくさん見なければ、異常は分かりません。
- ・ 母子の生理学の習得：
母子同室と母乳育児に関して京都南部地域で一番力を入れている病院です。
WHO・ユニセフの定める「赤ちゃんに優しい病院（BFH）」認定を目指しています。
- ・ 新生児の蘇生：NCPR 2010 に基づいた蘇生技術の習得。
- ・ 病的正期産新生児の診療：ハイリスク正期産新生児を年間 150 例以上診療しています。
- ・ late preterm 児（在胎 34 週から 36 週）の診療：
- ・ 極低出生体重児（出生体重 1500 g 未満）の診療：
- ・ 2 週間健診、1 ヶ月健診への参加

2 年目の 3～6 ヶ月間: 京都大学 NICU

京都医療センターで学べない先端技術、知識を中心に学んでいただきます。例えば、

- ・ 超低出生体重児（特に出生体重 800 g 未満）、超早産児（特に在胎 26 週未満）の診療
- ・ 外科的疾患児の診療：手術の必要な消化器疾患、循環器疾患、神経疾患、など

大学研修 3～6 ヶ月間の時期・期間は、任意に選んでいただきます。

2 年目の残り 6～9 ヶ月間: 京都医療センター

1 年目の内容に加え、

- ・ 前期研修医の指導
- ・ 各種勉強会の主催
- ・ 外来や病棟運営上の企画、立案

など、到達度に応じて課題を増やしていきます。

※ もちろん、学会参加や発表は、随時していただきます。

※ 以上は、2 年間の標準的なプランです。1 年間、3 年間のプランも別にご用意できます。